

釜石地域における森林認証の取得について

1 はじめに

釜石地方森林管理協議会(事務局:釜石地方森林組合)では、令和3年8月2日付けで、大槌町有林のFSC森林認証(FM認証)を取得したので、その概要を紹介します。

2 認証森林等の概要

(1) 計画作成主体

釜石地方森林管理協議会(以下「協議会」という。)

(2) 認証森林

大槌町の全町有林	856.29ha
うち、針葉樹	387.36ha
広葉樹	431.47ha
その他	37.46ha

3 認証取得の経緯

(1) 平成29年度

釜石地域では、釜石市平田の尾崎半島大規模林野火災の復旧後の姿を検討していく中で、持続可能な森林経営を実現するために、森林認証の管理手法を取り入れていくことについて、釜石地方森林組合を中心に5月から議論が始まりました。

沿岸局では、平成29年度から令和元年度までの3年間に亘り、地域経営推進費を活用し、先進地視察や森林認証に係る研修を実施し、認証取得に向けた支援を行いました。

(2) 平成30年度

沿岸局では、森林組合、市町と打合せを重ね、資源量がしっかりと管理されている公有林を優先に取り組むこととし、まずは

大槌町有林を対象として認証取得を目指すことになりました。

(3) 令和元年度

協議会を設置し、森林認証の具体的な申請手順等について、審査機関から指導を受けました。

(4) 令和2年度

協議会では、森林認証の認証審査に必要な森林管理計画書を作成し、9月に予備審査、12月に本審査が行われ、森林認証の原則・基準に基づく具体的な審査を受けました。

(5) 令和3年度

森林管理計画書の補正を重ね、令和3年8月2日付けで認証を取得しました。



4 今後の対応

協議会では、将来、釜石地域全体の民有林に認証取得を広げることを考えていることから、沿岸局では、引き続き、協議会の取組を支援していきます。